

		理学療法士としての基礎を養う		疾患と理学療法の基礎知識を学ぶ		理学療法の実践を学ぶ		臨床を体験するとともに研究法を学ぶ		
		1年次前期		2年次前期		3年次前期		4年次前期		
		1年次後期		2年次後期		3年次後期		4年次後期		
共通科目	教養科目	11002 / 11032 / 110031 医療倫理/物理学の基礎/生物学 I 他		12022	12024	13021	13023			
	コミュニケーション科目	11040 / 11050	11041 / 11051	時事問題解説 職業と社会生活(キャリア教育)		多文化共生論 環境と社会				
	保健体育科目	11060/11061	11062	12063	12064					
	セミナー	11070 基礎ゼミ								
専門基礎科目	人体の理解	21001 身体構造学		22002 身体構造学実習						
		21003 身体機能学		22004 身体機能学実習						
			21005 運動学 I	22006 運動学 II		22007 運動学実習				
			21009 人間発達学							
			21008 運動生理学							
	疾病・障害の理解		21012 リハビリテーション医学	22014 一般臨床医学	22020 病態運動学					
			21010 臨床心理学	22015 整形外科学	22021 薬理学概論					
			21011 精神医学	22016 神経科学	22017 臨床神経学					
				22018 小児科学	22013 公衆衛生学					
	保健医療福祉とリハビリテーションの理解	21030 リハビリテーション概論		22031 チーム医療実践論		23032 地域包括ケアシステム論				
学際的領域					22044 救急医療実践論	23040 応用文化人類学	23041 動物リハビリテーション			
					22045 臨床検査学概論		23042 バイオメカニクス			
							23043 リハビリテーション栄養学			
専門科目	基礎理学療法学	31051 基礎理学療法学		32052 医療統計学		33053 理学療法研究法				
	理学療法管理学						33060 理学療法教育学・管理学			
	理学療法評価学		31061 理学療法評価学	32064 理学療法評価学実習 I	32065 理学療法評価学実習 II					
					32082 臨床動作分析法					
					32063 画像評価法					
	理学療法治療学			32070 運動療法学概論	32071 運動療法学実習		33076 運動器障害理学療法学			34083 高齢者理学療法学
				32073 日常生活活動学	32074 日常生活活動実習		33077 神経障害理学療法学			34085 クリニカルリリーズニング
				32072 物理療法学・実習			33078 内部障害理学療法学			
				32075 補綴具学			33084 小児理学療法学	33082 スポーツ障害理学療法学		
							33079 プロフェッショナルスキル I	33080 プロフェッショナルスキル II		
								33081 プロフェッショナルスキル III		
	地域理学療法学					33090 地域理学療法学				
応用理学療法学					33091 生活環境学					
					33092 障害予防特論					
					33093 国際医療活動				34095 マニュアルセラピー	
臨床実習		31100 臨床実習 I		32101 臨床実習 II		33102 臨床実習 III	34103 臨床実習 IV	34104 臨床実習 V		
その他								34110 理学療法ゼミ		
								34111 卒業研究		

※DPとは  
ディプロマ・ポリシーを  
意味する

柔道整復師国家試験

DP1

DP2

DP3

DP4

DP5

**4年次**  
～セミナー～

- ・アドバンスセミナーⅣ (Ad-4)

---

～講義～

- ・臨床整復学Ⅷ (Aa1-2)
- ・応用整復学Ⅴ (Aa1-2)
- ・応用整復学Ⅵ (Aa1-2)

～実技・演習～

- ・臨床整復学実習Ⅷ (Cc-10)
- ・応用柔道整復学演習Ⅰ (Ce-1)
- ・応用柔道整復学演習Ⅱ (Ce-2)
- ・総合柔道整復学演習Ⅰ (Cf-1)
- ・総合柔道整復学演習Ⅱ (Cf-2)

---

～臨床実習～

- ・臨床実習Ⅱ (Cg-2)

**3年次**  
～セミナー～

- ・アドバンスセミナーⅢ (Ad-3)

---

～講義～

- ・社会保障制度 (Bb-4)
- ・職業倫理及び関係法規 (Bc-7)
- ・疾病の科学 (病理総論・各論) (Bb-12)
- ・整形外科学Ⅱ (Bb-9)
- ・リハビリテーションⅡ (Bb-11)
- ・衛生学 (Bb-5)
- ・公衆衛生学 (Bb-6)
- ・柔道整復術の適応 (Bc-8)

---

～講義～

- ・基礎整復学Ⅵ (Ca-6)
- ・臨床整復学Ⅶ (Cb-7)
- ・応用整復学Ⅰ (Cb-9)
- ・応用整復学Ⅱ (Cb-10)
- ・応用整復学Ⅲ (Cb-11)
- ・応用整復学Ⅳ (Cb-12)

～実技～

- ・柔道整復学実習Ⅱ (Cc-2)
- ・臨床整復学実習Ⅲ (Cc-5)
- ・臨床整復学実習Ⅴ (Cc-7)
- ・臨床整復学実習Ⅵ (Cc-8)
- ・臨床整復学実習Ⅶ (Cc-9)

---

～臨床実習～

- ・臨床実習Ⅰ (Cg-1)

**2年次**  
～セミナー～

- ・アドバンスセミナーⅡ (Ad-2)

---

～講義～

- ・解剖学Ⅲ (Ba-3)
- ・解剖学Ⅳ (Ba-4)
- ・生理学Ⅲ (Ba-7)
- ・生理学Ⅳ (Ba-8)
- ・外科学 (Bb-1)
- ・一般臨床医学Ⅰ (Bb-3)
- ・一般臨床医学Ⅱ (Bb-4)
- ・整形外科学Ⅰ (Bb-8)
- ・リハビリテーションⅠ (Bb-8)
- ・運動学と行動 (Ba-9)

～実技～

- ・柔道実技Ⅱ (Bc-6)

---

～講義～

- ・基礎整復学Ⅴ (Ca-5)
- ・臨床整復学Ⅱ (Cb-2)
- ・臨床整復学Ⅲ (Cb-3)
- ・臨床整復学Ⅳ (Cb-4)
- ・臨床整復学Ⅴ (Cb-5)
- ・臨床整復学Ⅵ (Cb-6)

～実技～

- ・臨床整復学実習Ⅰ (Cc-3)
- ・臨床整復学実習Ⅱ (Cc-4)
- ・臨床整復学実習Ⅳ (Cc-6)

---

～臨床実習～

- ・臨床実習Ⅰ (Cg-1)

**1年次**  
～講義・セミナー～

- ・医療倫理 (Aa1-2)
- ・情報処理Ⅰ (Ab1-1)
- ・情報処理Ⅱ (Ab1-2)
- ・基礎医療英語Ⅰ (Ab2-1)
- ・基礎医療英語Ⅱ (Aa2-2)
- ・アドバンスセミナーⅠ (Ad-1)

---

～講義～

- ・解剖学Ⅰ (Ba-1)
- ・解剖学Ⅱ (Ba-2)
- ・生理学Ⅰ (Ba-5)
- ・生理学Ⅱ (Ba-6)

～実技～

- ・柔道実技Ⅰ (Bc-5)

---

～講義～

- ・基礎整復学Ⅰ (Ca-1)
- ・基礎整復学Ⅱ (Ca-2)
- ・基礎整復学Ⅲ (Ca-3)
- ・基礎整復学Ⅳ (Ca-4)
- ・臨床整復学Ⅰ (Cb-1)

～実技～

- ・柔道整復学実習Ⅰ (Cc-1)

---

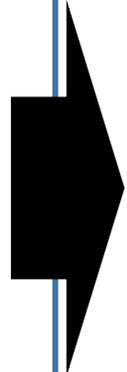
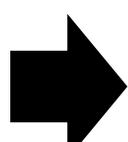
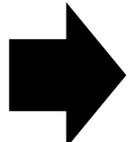
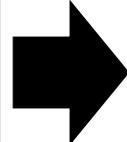
～臨床実習～

- ・臨床実習Ⅰ (Cg-1)

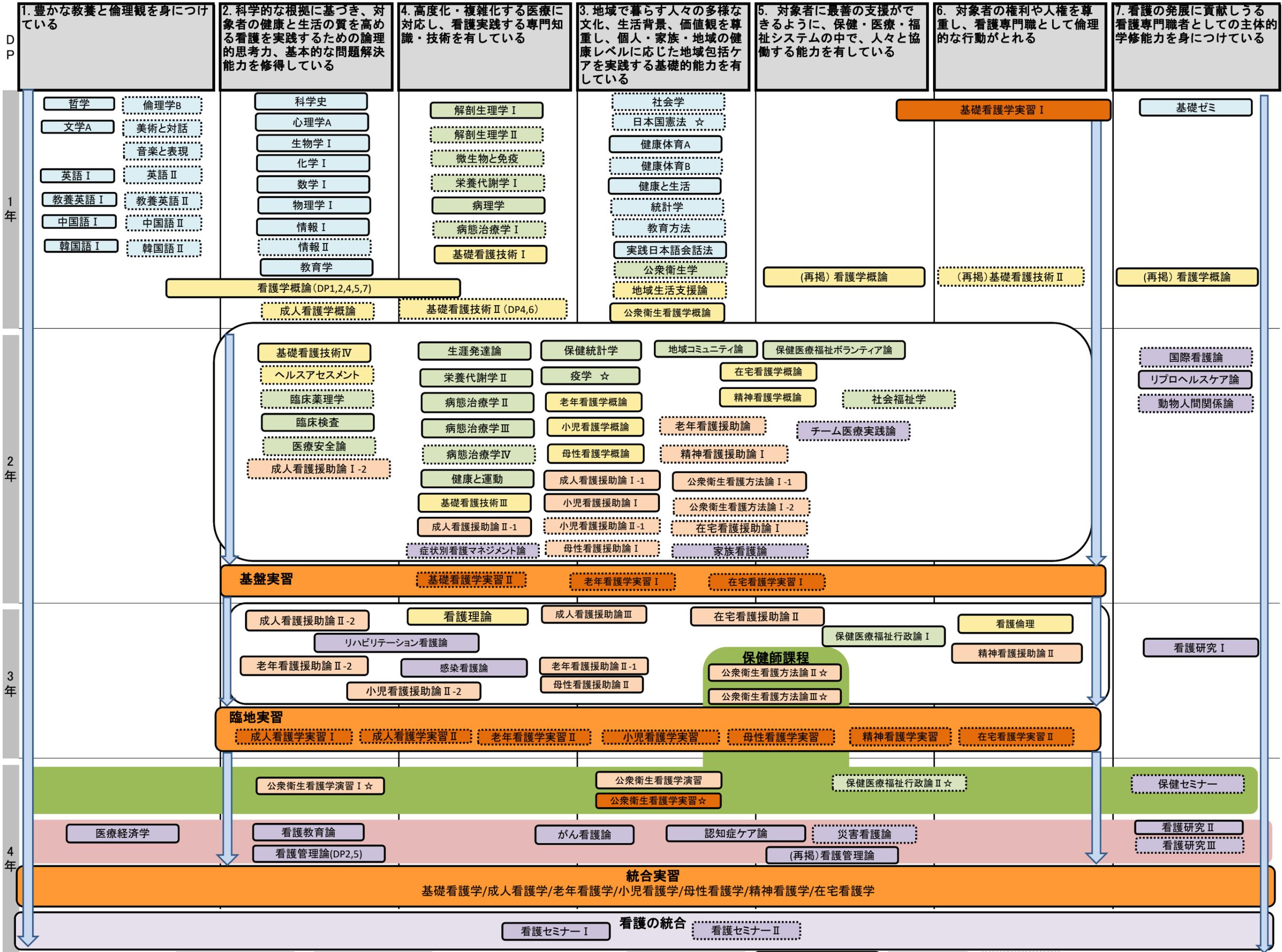
共通科目

専門基礎科目

専門科目



※卒業には上記科目のほか、**選択科目を8単位**取得しなければならない



(説明は別紙)

「カリキュラムマップ」：(説明)

教育活動の成果として学生に保証する最低限の基本的な資質を示したものをディプロマポリシーといい、帝京科学大学医療科学部看護学科では、7つのディプロマポリシーを示しています。

1. 豊かな教養と倫理観を身につけている
2. 科学的な根拠に基づき、対象者の健康と生活の質を高める看護を実践するための論理的思考力、基本的な問題解決能力を修得している
3. 地域で暮らす人々の多様な文化、生活背景、価値観を尊重し、個人・家族・地域の健康レベルに応じた地域包括ケアを実践する基礎的能力を有している
4. 高度化・複雑化する医療に対応し、看護実践する専門知識・技術を有している
5. 対象者に最善の支援ができるように、保健・医療・福祉システムの中で、人々と協働する能力を有している
6. 対象者の権利や人権を尊重し、看護専門職として倫理的な行動がとれる
7. 看護の発展に貢献しうる看護専門職者としての主体的学修能力を身につけている

この資質に到達できるカリキュラムとして、4年間にわたって開講されるすべての科目の関係性・関連性をより理解しやすくし、カリキュラム全体を俯瞰しやすくしたものが、この「カリキュラムマップ」です。

1年生では、教養や倫理観を身につけ、科学的な根拠を学ぶために幅広い共通科目があり、加えて看護の専門知識や技術、地域包括ケア力を身につけるための専門基礎科目や専門科目が始まります。主体的な学修能力を身につけるための基礎ゼミがあり、看護の対象と接し、対象を尊重することを学ぶ基礎看護学実習Ⅰがあります。

2年生では、専門基礎科目や専門科目が増え、疾患や看護の基本、看護援助の方法を中心に学修する科目が配置されています。これらは主にDP2,DP3,DP4,DP5,DP6に到達するための科目であり、論理的思考力や専門知識・技術、地域包括ケアの基礎的能力、保健・医療・福祉システムの中で人々と協働する能力、対象の権利を尊重し倫理的な行動の修得を目指しています。これらの知識・技術をもとに2年生の後期には基盤実習を行います。

3年生ではさらに専門的な看護の援助方法を学ぶ科目が配置されています。看護過程や看護援助、看護技術、看護の発展に該当する科目をとり、実習への準備をしていきます。3年前期までの必修科目をすべて修得したのちにすべての領域の臨地実習を行い、患者・療養者への看護を学修します。保健師教育課程の専門科目も始まります。

4年生では、すべての臨地実習から自分の興味のある看護分野を選び、統合実習を行います。看護研究を行うことで看護専門職者として看護の発展に貢献できる基礎的能力を養います。

看護の発展に関する選択科目では、看護師としての視野を広げます。

看護セミナー、保健セミナーにより、これまで学んできた知識を統合し、それぞれの国家試験に対応できる力をつけていきます。

保健師教育課程では、保健師課程の専門科目を学修したのちに公衆衛生看護学実習を行います。



# 理学療法学科カリキュラムマップ

※カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを達成するために○ 特に重要な項目 △ 履修することが望ましい項目

ディプロマポリシー	知識・理解 < 学料として専攻する学部分野で身につけておくべき内容 >	基礎・臨床医学に基づいた理学療法学の基礎力を基盤とし、理学療法士国家資格に準拠する専門的知識を修得している。 また、現代社会の多様化されたニーズに応じた諸問題を解決するため、科学的根拠に基づいた実践的な理学療法を修得し、共存する人と環境との調和を理解する能力を身につけている。
	汎用的技能 < 学料として卒業後の職業・社会生活上身につけておきたい技能 >	他者の心身を理解するコミュニケーション・スキル、臨床上に起こる現象論を十分な知識と理解から論理的に分析する思考力、迅速な判断により疾病の障害像に対応する優れた臨床力のある問題解決能力を身につけている。
	態度・志向性 < 市民・社会人として身につけておきたい態度や志向性 >	高齢社会、国際社会に適応すべく対象者・文化の多様化による医療・福祉社会情勢の変化に対応できるように、常に自らの能力を客観的に評価することで自己修正し、生涯学び続ける姿勢を有することのできる志向性を身につけている。

ナンバリングコード	学科	理学療法
	年次	1: 1年次 2: 2年次 3: 3年次 4: 4年次
	学部分野	1: 共通科目 2: 専門基礎科目 3: 専門科目
	通し番号	01~

共通科目	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養科目	情報処理 I P1101	生命と物理 P1103	コミュニケーション科目	基礎ゼミ I P1102	基礎ゼミ II P2101	基礎ゼミ III P3101	基礎ゼミ IV P4101	保健体育科目	○	○	○	○	○	○		
人間の構造と機能及び心身の発達	人体の構造と機能 I P1201	人体の構造と機能 II P1207	人体の構造と機能 I 実習 P1202	人体の構造と機能 II 実習 P1208	人体の構造と機能 II P2201	※基礎医学応用 P2208		運動学 I P1203	運動学 II P1209	運動生理学 P2203	※機能解剖学 P2209					
	運動学 I P1203	運動学 II P1209	人間発達学 P1210													
	医療概論 P1204	病理学 P1211	リハビリテーション概論 P1205	臨床心理学 P1212	内部障害と臨床医学 I P2204	※内部障害と臨床医学 II P2210										
疾病・障害の切り立ち及び回復過程の促進					骨関節障害と臨床医学 I P2205	※骨関節障害と臨床医学 II P2211										
					神経・脳障害と臨床医学 I P2206	※神経・脳障害と臨床医学 II P2212										
					精神障害と臨床医学 P2207	小児の障害と臨床医学 P2213										
保健医療福祉とリハビリテーションの理念																
	保健医療福祉論 P1206															
実践活用																
基礎理学療法学	理学療法概論 P1301		基礎理学療法学実習 P1306		理学療法研究法 P2310											
	理学療法概論 P1301															
	基礎理学療法学 P1302															
理学療法概論																
理学療法研究																
理学療法評価学																
理学療法治療学																
地域理学療法学																
応用理学療法学																
臨床実習	臨床実習 I P1304				臨床実習 II P2307							臨床実習 III P3329	臨床実習 IV P4302	臨床実習 V P4303		
学際的研究科目																

専門性の確立を目指した実践、幅広い社会的活動及び国際的医療活動を通して社会に貢献できる学際的な能力を構築し、  
 統合的な学習経験と創造的的思考力へ学科として育てたい人間像

2022年度 作業療法学科 カリキュラムマップ

	1年次	2年次	3年次	4年次
共通科目	* 哲学と思想	生命と倫理		
	* こころの科学	* 社会心理学	* 社会学の基礎	
	* 知識と人間	* 政治と思想		
	* 多文化共生論	* 日本国憲法		
	* 数学の基礎	* 環境と社会		
	* 物理学 I	* 統計学入門		
	* 化学の基礎	* 情報処理 II		
	* 生物学 I	* 基礎英語 II		
	情報処理 I	* 応用英語 I		
	* 基礎英語 I	* 健康体育 II		
	* 応用英語 II			
	* 中国語基礎 I			
	* 韓国語基礎 I			
	* 健康と生活			
	* 健康体育 I			
	基礎ゼミ			
専門基礎科目	1101人体の構造と機能 I	1103人体の構造と機能 II	1105人体の構造と機能 III	* 1107基礎医学応用
	1102人体の構造と機能 I 実習	1104人体の構造と機能 II 実習	1106人体の構造と機能 III 実習	
	1108運動学	1109運動学実習	1203内部障害と臨床医学 I	* 1204内部障害と臨床医学 II
	1101医学概論	1110人間発達学	1206神経・筋系障害と臨床医学 I	* 1207神経・筋系障害と臨床医学 II
	1302リハビリテーション概論	1102臨床心理学	1208精神障害と臨床医学	1209小児の障害と臨床医学
		1213病理学	1205骨関節障害と臨床医学 I	* 1210スポーツ障害と臨床医学
		1303保健医療福祉論		1211老年期障害と臨床医学
				1212救急医学実践論
				1301多職種連携論
				* 1304公衆衛生学
				* 1401リハビリテーション工学
				* 1402カウンセリング実践論
				* 1403QOL・ターミナルケア論
				* 1404リハビリテーション医療英語
	専門科目	2101作業療法概論	2103作業療法基礎技法学実習	2106作業分析
2102作業療法基礎技法学				* 2105作業療法研究法応用
2108作業療法理論				2107医療統計学
		2601早期臨床実習	2202作業療法教育・職業倫理	2201職場・安全管理学
			2304作業療法基礎評価学	2305作業療法評価学実習
			2403生活活動論基礎	2404生活活動論応用
			2302作業療法評価学 II	2405身体障害の作業療法基礎
			2301作業療法評価学 I	2408老年期障害の作業療法基礎
				2410精神障害の作業療法基礎
				2412子どもの作業療法基礎
				2303作業療法評価学 III
				2413子どもの作業療法応用
				* 2414ハンドセラピー実践論
				* 2415認知症の作業療法
* 2109環境と健康			2501地域作業療法	* 2503社会生活支援における作業療法
		2502在宅作業療法		
			* 2701人間情報処理	
			* 2702ロボットと医療福祉	
			* 2712乗馬療法技術概論	
			* 2713動物介在療法のための感覚統合	
			* 2716国際医療活動	
			* 2714教育学 I	
			* 2715教育学 II	
2706リハビリテーション特論 I	2707リハビリテーション特論 II	2708リハビリテーション特論 III	2709リハビリテーション特論 IV	2710リハビリテーション特論 V
				2711リハビリテーション特論 VI
				* 2717卒業研究

共通科目 (教養とコミュニケーション)

専門基礎科目 (リハビリテーションの基礎知識)

専門科目 (作業療法の基礎)

専門科目 (作業療法の評価と治療の基礎)

専門科目 (作業療法の評価と治療の実践)

専門科目 (臨床実習)

専門科目 (学際的科目)

ナンバリングコード

学問分野	領域	通し番号
1: 専門基礎科目	1: 人体の構造と機能及び心身の発達	01~
	2: 疾病・障害の成り立ち及び回復過程の促進	01~
	3: 保健医療福祉とリハビリテーションの理念	01~
	4: 実践活用	01~
3: 専門科目	1: 基礎作業療法学	01~
	2: 作業療法管理学	01~
	3: 作業療法評価学	01~
	4: 作業療法治療学	01~
	5: 地域作業療法学	01~
	6: 臨床実習	01~
	7: 学際的研究科目	01~

\*: 選択科目

2022年度 柔道整復学科 カリキュラムマップ

区分			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通科目	教養	人間	哲学	倫理学B							
			心理学A	心理学B							
		社会系	歴史学A	歴史学B							
			法学	日本国憲法							
			経済学	社会学							
		文化	文化史A	文学B	文学A						
		自然	数学 I								
			物理学 I								
	化学 I										
	生物学 I										
	語学	英語 I	英語 II								
		教養英語A	教養英語B								
	保健体育	健康と生活	健康体育B								
		健康体育A									
	データサイエンス	情報 I	統計学								
			情報 II								
	キャリア		実践日本語会話法	時事問題解説							
			キャリアデザイン I								
ゼミ		フレッシュセミナー I	フレッシュセミナー II			アドバンスセミナー I	アドバンスセミナー II				

区分			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎科目 (専門基礎分野)	人体の理解	解剖学 I		解剖学 II		外科学				
		生理学 I		生理学 II						
			人間発達学	運動学						
				病理学						
	疾病・障害の理解				人体の生理学的特性と変化					
		医学概論		整形外科学基礎	整形外科学臨床	一般臨床医学 I	一般臨床医学 II	臨床医学診断法		
		リハビリテーション概論		医療統計学	チーム医療実践論	リハビリテーション各論	高齢者保健学	社会保障制度		
				公衆衛生学	臨床心理学	柔道整復の適応		薬学の基礎		
				精神医学 I	精神医学 II					
				内部障害と臨床医学 I	内部障害と臨床医学 II					
				神経・筋系障害と臨床医学 I	神経・筋系障害と臨床医学 II					
	実践活用		柔道実技	ヒトの運動と呼吸の生理			救急医療	職業倫理及び関係法規		
			スポーツトレーナー入門				介護予防概論			
			アロマセラピー				地域保健スポーツ医療概論			
							徒手療法			

区分			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目 (専門分野)	基礎柔道整復学	基礎柔道整復総論 I	基礎柔道整復総論 IV	基礎柔道整復総論 V						
		基礎柔道整復総論 II								
		基礎柔道整復総論 III								
	臨床柔道整復学		臨床柔道整復各論 IV	臨床柔道整復各論 I		臨床柔道整復各論 V	柔道整復演習 II	臨床柔道整復治療学		
			臨床柔道整復各論 VII	臨床柔道整復各論 II		臨床柔道整復各論 VI	柔道整復演習 V	柔道整復演習 III		
				臨床柔道整復各論 III		臨床柔道整復各論 VIII		柔道整復演習 VI		
						臨床柔道整復各論 IX		柔道整復演習 VII		
						臨床柔道整復各論 X		柔道整復演習 VIII		
						柔道整復演習 I		柔道整復演習 IX		
						柔道整復演習 IV		柔道整復総合演習 I		
	柔道整復実技		基礎整復技術実習 I	臨床整復技術実習 III	臨床整復技術実習 I	臨床整復技術実習 VII	臨床整復技術実習 IV	臨床整復総合演習 III		
			基礎整復技術実習 II	臨床整復技術実習 VI	臨床整復技術実習 II	臨床整復総合演習 I	臨床整復技術実習 V			
			基礎整復技術実習 III				臨床整復技術実習 VII			
							臨床整復総合演習 II			
			臨床実習 I	臨床実習 II	臨床実習 III	臨床実習 III	臨床実習 IV			
							柔道セラピー研究法	卒業研究		

必修科目 選択科目